

授業科目	心理学と心理的支援 I					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	杉本 有紗						
授業概要	<p>心理学は、「心の学問」である。心理学は、「人がなぜそのようにふるまうのか」といった心の仕組みを解き明かす基礎的な側面と、心を支援したりする技術を提供する応用的な側面をもっている。心の支援を行うためには、基本的な心の仕組みを基礎として理解しておくことが必要である。</p> <p>『心理学と心理的支援 I・II』では、心理学を体系的に学び、基本的な心理学の知識を身につけることを目的とする。</p> <p>前期『心理学と心理的支援 I』では、心理学の歴史と研究法、心の発達、個人差、心の適応の問題など「心理学」として身近でイメージしやすい分野を取り扱う。</p>						
授業形態	対面授業			授業方法			

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 心理学の歴史や研究法に基づき、心理学の視点について説明することができる。 人の発達、発達理論について説明することができる。 個人差について、パーソナリティと知能の側面から説明することができる。 ストレスとストレスに関わる諸事象について説明することができる。 心理アセスメントについて説明することができる。 心理療法について説明することができる。 日常生活で経験する様々な現象に関心を持ち、心理学の知識と結びつけようと努力することができる。
理想的レベル	<p>心理学の基本的な知識をよく理解し、現実場面のさまざまな問題を考える時に応用することができる。</p> <p>心理学の考え方や理論について、授業で学んだ内容を手がかりとして、さらに調べ、知識を広げることができる。</p>

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	70%	
小テスト	0	
レポート	30%	小レポート
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	WE21401J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	

事前にテキストの該当箇所を読む。テキストと授業資料を振り返る。授業の要点をまとめる。

4

授業計画

第1回	テーマ：心理学とは① 心理学とは 心理学とは何か、心理学の分野、福祉実践と心理学について解説する。
第2回	テーマ：心理学とは② 心理学の研究法 実験的研究、相関的研究、信頼性と妥当性、データを集める方法について解説する。
第3回	テーマ：心の発達① 心の進化 心と行動、人の心の進化、社会性の発達について解説する。
第4回	テーマ：心の発達② 身体と心の発達 発達の規定因、身体的な発達、ピアジェの認知発達理論について解説する。
第5回	テーマ：心の発達③ 様々な発達理論 ボウルビィ、コールバーグ、エリクソン、ハヴィガースト、バルテスらの唱えた発達理論について解説する。
第6回	テーマ：個人差① パーソナリティ パーソナリティとは、特性論と類型論、個人差についての臨床心理学、社会心理学の理論について解説する。
第7回	テーマ：個人差② パーソナリティと心理療法 精神分析、行動療法、来談者中心療法における個人差の捉え方について解説する。
第8回	テーマ：個人差③ 知能 知能とは、知能の発達、創造性と熟達化について解説する。
第9回	テーマ：心の健康① ストレス ストレスとは何か、汎適応症候群、認知的評価モデル、ストレスに対する反応、ストレス・コーピングについて解説する。
第10回	テーマ：心の健康② 心の問題 心の問題の捉え方、青年期以降の心の問題、発達における問題について解説する。
第11回	テーマ：心理的支援① 心理アセスメント アセスメントとは、観察法、面接法、心理査定（質問紙法、投影法、作業検査法）について解説する。
第12回	テーマ：心理的支援② 心理面接と三大心理療法 心理面接、精神分析、行動療法・認知行動療法、来談者中心療法について解説する。
第13回	テーマ：心理的支援③ その他の心理療法 個人に対する心理的支援について解説する。
第14回	テーマ：心理的支援④ その他の心理療法 集団に対する心理的支援、地域社会への心理的支援について解説する。
第15回	テーマ：まとめ 心理学と心理的支援Ⅰにおいて学んだことを振り返る。
テキスト	長谷川千洋編『エッセンシャル心理学』ナカニシヤ出版（2020）
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>●情報量の多い、充実した概論書●</p> <p>『心理学概論第2版』岡市廣成・鈴木直人監修 青山謙二郎・神山貴弥・武藤崇・畠敏道編 ナカニシヤ出版（2014）</p> <p>『心理学』無藤隆・森敏昭・遠藤由美・玉瀬耕治著 有斐閣（2004）</p> <p>『心理学 第5版補訂版』鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃・河内十郎編 東京大学出版会（2020）</p>

	<p>●情報量が絞られ、手に取りやすい概論書●</p> <p>『心理学概論 こころを科学する 第2版』吉崎一人・松尾貴司・斎藤和志編著 ナカニシヤ出版 (2019)</p> <p>『心理学をつかむ』今井久登・平林秀美・工藤恵理子・石垣琢磨著 有斐閣 (2009)</p> <p>『心理学』鈴木常元ら 編 新曜社 (2014)</p> <p>『心理学への招待 人間理解の科学 第2版』鈴木清編 ナカニシヤ出版 (2002)</p> <p>その他、適宜紹介する。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>小レポートを返却する。</p> <p>成績発表後に、評価点分布図を提示する。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>書店や図書館等で参考になる書籍を探してみてください。心理学に関する書籍は数多く出版されています。</p> <p>各書籍とも心理学の知識を伝えようと、様々な工夫が凝らしてあります。自分の読みやすいテキスト、自分の知りたいことがもっと詳しく説明されているテキストは他にもあるかもしれません。</p> <p>また、日常場面での体験と、授業で学んだ内容を結びつけてみてください。心理学を身近なものとして感じて興味を持ってほしいと思います。</p>

